

創刊にあたり

本植物園は先任正宗徹敬教授（現名誉教授）がすでに着手された所で、園内の整備も逐次行なわれ、種子交換目録は毎年世界の主要植物園等に送られ、昭和32年には所産植物目録も刊行され、世界植物分類学会の植物園表に掲載されているものである。その間正宗先生はもとより、里見講師其他の御苦心があったのであるが、昭和41年度文部省より植物園研究室の建設が認められ、同年度末に完成、その年度はじめから旧金沢大学図書館を仮りに研究室として使用していたのから引移り、かつ大学当局から毎年補助をあおぎ、次第に植物園としての体形を整えてきている。この間本園育成に関しては本理学部生物学科教官、理学部教官、及び学長、理学部長をふくむ植物園整備委員会の諸先生、更には運営に苦心された事務関係の方々の御協力をおおいでいるが、それらの御支援に対し深謝し、今後とも育成に御尽力下さるようお願い致すものである。今回本園の事業の一部とし、本報告を刊行することとなった。未だ創立間もなく零細なものであるが、これを足場にして今後の発展を期したいと思うものである。尚本報告刊行については前記里見講師が主として編集に当たったことを付記する。

昭和43年3月1日

金沢大学理学部植物園長

秋 山 茂 雄